

## 教育委員会定例会議事録

令和元年7月23日 午後2時00分 開議

## 出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	林 正 美
委 員	菅 沼 由 貴 子
委 員	渡 辺 時 行
委 員	戸 苺 恵 理 子

## 説明のための出席者

教育部長	原 田 潔
教育部次長兼生涯学習課長	前 田 清 彦
教育部次長兼学校教育課長	河 原 克 明
教育部次長兼中央図書館長	近 藤 慎 一
庶務課長	酒 井 保 吏
学校教育課主幹	小 林 和 弘
生涯学習課長	林 弘 之
スポーツ課長	戸 苺 憲 司
学校給食課長	牧 平 行 史
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司

## 教育長が指定した事務局職員

主 事	鳥 居 政 治
主 事	柴 田 訓 代

## 議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第22号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第3 第23号議案 令和2年度使用教科用図書の採択について（非公開）
- 第4 その他報告 令和元年6月定例会市議会における教育問題について
- 第5 その他報告 平成30年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに、日程第1「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事

録署名委員は、教育長において、菅沼・渡辺両委員を指名いたします。よろしく願います。

「高本教育長」 続いて、日程第2、第22号議案「教職員の任用について」を議題といたします。なお、本案は教職員の人事に関する案件ですので、議事は非公開とし、会議内容の議事を別に記録することにしたいと思います。更に続けて、日程第3、第23号議案「令和2年度使用教科用図書の採択について」ですが、教科用図書の採択に対する働きかけを排除し、公正について万全を期す必要がありますので、こちらの議事についても非公開とし、会議内容の議事については、教科用図書確定後に開示請求に基づいて開示する事にしたいと思います。以上の理由によりまして、第22号議案と第23号議案の審議は非公開とすることによろしいですか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、第22号議案及び第23号議案については非公開で行います。それでは、第22号議案「教職員の任用について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「河原教育部次長」 第22号議案「教職員の任用について」を資料に基づき説明。

(以下、議事内容は個人情報に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 異議なしと認めます。日程第2、第22号議案「教職員の任用について」は原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 非公開で次の議題に入ります。日程第3、第23号議案「令和2年度使用教科用図書の採択について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「河原教育部次長」 第23号議案「令和2年度使用教科用図書の採択について」を資料に基づき説明。

(以下、教科用図書の採択に対する働きかけを排除するなど、公正について万全を期す必要があるため、議事を非公開)

「高本教育長」 では、ここからは公開になります。続きまして、日程第4、その他報告「令和元年6月定例会市議会における教育問題について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「原田教育部長」 「令和元年6月定例会市議会における教育問題について」を資料に基づいて説明。

「高本教育長」 6月議会は、7名の議員からの質問を頂いたという事で報告をいただきました。全体を通して、何かご質問等がございますか。

「戸荊委員」 空調設備についてですが、1学期の懇談会で金屋中の教室に入って感じたことをお話させていただきたいと思います。7月16日の火曜日で、初めて空調設備が付いた学校での懇談会だったのですが、その日は最高気温27度でした。まず教室に入った時に何も感じませんでした。窓が閉まっている事に気が付いて、周りを見たら扇風機が回っていました。先生に空調が付いているのか尋ねたところ、付いているということでしたが、扇風機も回しています。廊下から教室に入ったときに涼しいとも何も感じませんでした。先生に実際に使っていてどうですかとお聞きしたら、やはり梅雨明けもしていなくて、27度設定で湿度も高い状態なのであまり意味を感じないと正直におっしゃってくださいました。せっかく空調を付けたのであれば、もう少し涼しいと感じる温度になっても良いのではないかと感じました。それからもう一つ提案させていただきたいのは、中学生の制服についてです。代田中が一時期ポロシャツだったのを少し前にやめたのですが、その理由が、公の場に出て行くにはポロシャツだと代田中だけ浮いてしまってあまり良くないということで、半袖ワイシャツに揃えたというお話でした。ワイシャツといっても、シャツの中に高級な体操服を着ているのです。高級というのは、3年間買い替えなくても良いようになっているので、とても高級な体操服なのです。その体操服の上に更に制服を着て本当に暑そうなので、もう1度ポロシャツを復活させて欲しいです。そうしたら空調も、もう少し現状のままでもいいのではないかなと思います。制服を着て授業を受ける学校がほとんどだと思うのですが、クールビズと言われている中で中学校の制服だけ昔のまま維持するだけではなく、もう少し涼しく一枚で過せるようにして欲しいです。公の場できちんとした格好が必要ならば、例えば始業式や修了式はそういう格好をしましょうなど、きちんとした服装で式を受けるという心構えも教えなくてははいけませんので、そのような時には制服を一枚用意しておいて、常にはポロシャツ型の制服を復活させて欲しいと思います。実際に空調を体験した中で、考えて本日発言させていただきました。

「高本教育長」 ありがとうございます。2点ご意見をいただきましたが、事務局からコメントがありますか。

「原田教育部長」 私も7月の学校訪問で実際に何校か行かせていただきました。空調はどうだろうと期待して行きましたが、学校は、1階、2階、3階とあり、教室の広さもいろいろですので、暑い所と涼しい所、冷房が効いている所と効いてない所がありました。空調が入っていても暑く感じる所と涼しく感じる所はあるということには実際に体験して分かりました。自宅の空調もそうですけれど、オート機能で温度が上がると冷房が効いて、ある程度下がると止まるという事の繰り返しでございます。機械的にはセンサーで管理されておりますので、暑いとか涼しいと感じる事はありますが、全体としては統一的な管理がされています。豊川市小中学校空調設備運用指針という統一の基準を設けて、27度設定として教室毎に管理できるようになっていますが、まだ空調は付いたばかりですので、これからいろいろなご意見があろうかと思えます。出来るだけ丁寧な対応をしていきたいと思っております。

「高本教育長」 今の部長の話を知ると、戸荊委員が行かれた金屋中でも空調は使っ

てはいるものの、あまり効いていない教室もあるということのようですね。庶務課長、教室の配置によって陽が入りやすいとか温度が上がりやすい場合は、その教室だけ冷やすということができるとは思いますか。設備として全体が冷えるのですか。

「酒井庶務課長」 全体をコントロールしながら稼働していますが、それぞれの教室にもセンサーが付いています。基本的には部長が言われたとおり、それぞれの学校で使用を控えたりすることがないように運用指針を定めておりますし、統一的な設定温度で運用をしています。少し付け加えますと、昨年この運用指針を設けた時には、学校の環境衛生基準が28度以下にしなければいけないということでしたので、昨年は温度が29度以上になったら28度設定で空調を稼働しましょうという指針でやっていました。ところが実際に稼働状況を調査したところ、28度設定にしても実際の教室の温度は28度を超えてしまっているという状況が調査で分かりましたので、今年度運用指針は27度設定としております。現在、27度設定で全校一律稼働させている状況でございます。センサーが付いておりますので基本的に、例えば日当たりの良いところ、日陰になるような所でも、一応設定温度を超えれば運転が強くなりますし、設定温度まで下がれば運転を控えるよう自動的にコントロールする形になっています。今年度、これで全校整備をいたしましたので、学校に空調利用に対するアンケート等を取りながら、そういった意見が多いようでしたら温度設定を下げるなどの検討もしていきたいと思っております。

「戸荻委員」 この日は27度が最高気温だったので、入れるか入れないかというラインだったのですね。

「酒井庶務課長」 熱中症指数によって、27度、26度でも湿度が高ければ入れて良いことにしております。

「高本教育長」 除湿はできるのですか。

「酒井庶務課長」 除湿だけの機能はありません。

「高本教育長」 では戸荻委員が言われるように、ちょうど気温としても境目で空調を入れてもあまり効かないし、除湿機能がないと湿度も高いので、涼しく感じなかったのは、その辺りに原因があったかもしれないですね。もう1点は、空調がそのような状況だと子ども達の制服での授業はきついのではないかというご意見ですが、中学校の授業中の制服着用頻度などの状況は分かりますか。

「河原教育部次長」 特に調査をした訳ではありませんが、基本的に制服の指定について、こういう制服にするというのは学校で決めていることです。いつどのような場面で着用するのか、これも学校サイドで決めています。暑い時期には半袖の襟付きのポロシャツでも、Tシャツでも良いというような指示を出す場合もございます。

「戸荻委員」 そうなのですか。

「河原教育部次長」 学校によっては、そのような指示をしています。部活動がある時期には体操服登校等を認めている学校もありますし、授業でも体操服等で授業をしている学校もございます。ただし、委員がおっしゃるとおり式典等あるいは定期テストのときは制服着用をするように生徒に指導している所もございます。いずれにして

も、それぞれの学校で決めているところが多いです。なお、新たにポロシャツなどを考える前に、基本的に保護者負担となりますので、新たな物を導入するという事は、その部分でも難しいと学校も考えていると思います。

「高本教育長」 河原次長の前任校は、授業中は制服でしたか。

「河原教育部次長」 体操服でした。

「高本教育長」 私の良く知っている中学校でも授業中は半袖の体操服1枚でした。小林主幹の前任校はどうでしたか。

「小林学校教育課主幹」 制服でした。半袖カッターシャツで、女の子は白いセーラー服でした。

「戸荻委員」 学校によっていろいろなのですね。

「菅沼委員」 中部中は、昔は体操服でしたが、今は制服で登校していますね。

「戸荻委員」 空調設備が整ったから制服で授業を受けましょうという訳ではないとは思いますが、クールビズと言われているサラリーマンはネクタイをしなくなっているのに、中学生は制服を着て登下校しなければいけないというのはどうなのでしょう。

「菅沼委員」 制服にネクタイはないですよ。

「戸荻委員」 体操服の上にシャツを着るので、ポロシャツだったら全然違うと思います。

「菅沼委員」 制服もポロシャツも買うとなると、保護者の負担も2倍になってしまうという事もあります。割と体操服を変えましょう、変えてくださいというのはPTAから意見が出ますからね。例えば体操服はハーフパンツが良いとか、例えば段々とリュックサックや、それも統一ではなく簡単に買える物が良いというのはPTAから言いますね。校長先生や学校からこのようにしたいというのはあまりないですよ。

「河原教育部次長」 保護者の方から要望等があって、それから検討して変えるという事は聞いた事がございます。

「戸荻委員」 代田中もそうだったということでしょうか。

「河原教育部次長」 代田中については把握しておりませんが、過去において私が経験したところはそうでした。

「戸荻委員」 では教育委員会からこうしたいと言う事はないということですね。

「河原教育部次長」 基本的に学校で決めています。

「戸荻委員」 だから授業中に制服を着る学校と、体操服を着る学校があるという訳ですね。

「河原教育部次長」 はい。そういう事になります。

「戸荻委員」 分かりました。

「高本教育長」 この制服の問題については、それぞれの学校で考えることは次長が言われた通りですが、中学校長会などの場で、教育委員会議において夏場のことを考えると服装について心配するご意見があった事を伝えていただければと思います。

「河原教育部次長」 承知いたしました。

「高本教育長」 他にはありますか。

「林委員」 通学路の安全対策についてですが、危険箇所を地域住民の方々に知らせて共通意識を持つというのは、私もとても重要な事だと思っています。合わせて子ども達自身に、自分の身は自分で守るという意識も植えつけていかなければいけない気がします。通学路の危険箇所には、交通指導員の方や見守り隊の方々が立って指導されていますが、子ども達はその方々の指示通りに動いていて、危険についてしっかり考えていないのではないか、昔よりもそういう意識が弱くなってきているのではないかと心配しています。どうも交通安全の意識がそれほど高まっているようには思えないのですが、その辺りはどうでしょうか。

「高本教育長」 今の林委員の意見に少し補足をさせていただくと、もちろん大きな事故があったりしてはいけないのですが、いろいろな事が手厚く守られるようになった事によって逆に子ども達に安心感が芽生えたために、林委員がおっしゃったように危機感というか、自分でどうするかという判断力、意識が薄れているのではないかというのは、確かに私も感じるところです。学校教育課として今のご意見に対して何かありますか。

「河原教育部次長」 自分の身は自分で守る、これは東日本大震災で釜石東中学校の生徒が小学生の手を引きながら逃げたという「釜石の奇跡」として知られる話が、僕らにとっても大変教訓となった事例であり、それを受けていろいろな危険から自分達の身は自分で守るという事を常々意識して避難訓練等を実施しております。しかし、それを交通事故防止として考えると、本課に報告されるいろいろな交通事故等に重篤な案件はありませんが、軽微な接触等はあることから、林委員からのご指摘は否めないと思っております。国内で起きている様々な事件事故等を踏まえて、総合的な子ども達の安全教育というのは大事だと認識をしております。林委員のご指摘のとおり、危険を予測する力、これをきちんと子ども達に指導していく事を、引き続き校長会等でも伝えていき、交通安全を含めた全ての安全教育について各学校での指導を充実させていこうと考えているところです。

「高本教育長」 これについても教育委員から意見があったとして、子ども達にぜひそういう力をつけて欲しいということを学校に伝えてほしいですね。事故の割合としては子ども達が被害者になりますが、自分が被害を受ける原因を作ることがある。飛び出しにしてもそうですし、広がって歩くとか自転車で並走るとか、自分達が事故を起こす原因を作っているという意識が薄いのではないかと思います。自分たちがきちんとしていればそんな交通事故は起こらなかったという事もあると思いますので、林委員のご意見に絡めてぜひ学校に伝えていただきたいと思います。他にはありますか。

「菅沼委員」 空調は普通教室にはすべて付いたのですが、まだ付いていない部屋もありますよね。例えば、理科室や特別支援のクラスにも付いていない所もあると思うのですが、どのようにお考えですか。

「高本教育長」 特別支援で付いていない教室ありますか。

「酒井庶務課長」 特別支援は全部付いているはずですが。

「菅沼委員」 教室を二つに分けて使用している場合は、両方に効くようにしてありますか。

「酒井庶務課長」 はい。分けても効くようにしております。菅沼委員のおっしゃるとおり特別教室の中では、理科室や音楽室、家庭科室といったところはまだ付いていない状況です。先進的な取り組みをしている所では体育館にも空調が付いている所もありまして、避難所として夏はどうするのかという議論もありますが、なかなか一度には整備ができませんので、段階を追ってという状況です。

「高本教育長」 体育館は、広いので難しいですね。

「菅沼委員」 庶務課長が言われたように、もしもの事があった時に避難所として必要になるので、体育館の空調などは学校ではなく市全体の事として考えていただけるとありがたいですね。

「高本教育長」 そうですね。ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。プール跡地のテニスコートについては、もう図面はできているのですか。

「戸荻スポーツ課長」 検討中です。

「高本教育長」 少々の雨でも使用出来るくらいのテニスコートですか。

「戸荻スポーツ課長」 コートの仕様については、現在はクレイコートという土ですが、将来的には人口芝で整備をする予定です。小雨なら出来るかもしれませんが、雨が止んだらすぐに使えるような人工芝を想定しています。

「高本教育長」 今年は雨が多かったものですから、テニス関係の大会が出来ていたのか少し気になったのでお聞きしました。他にはよろしいですか。沢山ご意見いただきましてありがとうございます。ご質問、ご意見等がなければ、日程第4、その他報告「令和元年6月定例会市議会における教育問題について」の報告は以上で終了とさせていただきます

「高本教育長」 もう一つ、その他報告があります。日程第5、その他報告「平成30年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「酒井庶務課長」 「平成30年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について」を資料に基づいて説明。

「高本教育長」 毎年実施しております教育委員会諸事業の点検評価ということで、点検評価委員に評価をしていただきますが、まず自己評価の報告ということです。毎年、教育委員の皆さまから様々なご意見をいただきまして、それを受けてこれまでも改善を進めてきたかと思いますが、本年度についても、報告の方法等また新たな改善を加えていただいたということです。評価シートについては、52事業が載っているとのことですが、個々のシートからでも結構ですし、この点検評価全体のことについても構いませんので、ご質疑がありましたらご発言をいただきたいと思います。

「林委員」 自己評価について、昨年も言ったと思いますが、少し感覚的過ぎないか

という気がします。例えて言いますと14ページの食に関する指導の充実では、前回よりも自己評価を下げていますが、その理由として、朝食を食べていない子どもが増えている、だから自己評価を下げましたと言っています。ある意味その通りかもしれませんが、朝食を食べる、食べないというのはどちらかというと家庭の問題でしょう。それを評価を下げる理由にして良いのでしょうか。そういうものが随所に見られます。もう少し言いますと、例えばシートNo.34、こちらも評価を下げています。参加人数が少なくなったからという説明があったと思うのですが、参加人数で決めるのですか。これは参加した人が満足したかどうかで決めるべき内容だと思うのですが、その辺りがどうもすっきりしません。学級支援員に関しても、これは学校教育課を代表するものでもっと支援員を増やしていきたい事業だと思うのですが、いつも評価が真ん中ですよ。これこそ評価を高くして、各学校も非常に期待している事業なのだからもっと支援員を増やしたいという方向に持っていかなければいけないのではないのでしょうか。何となく自己評価が感覚的と言いましょか、統一性がないような気がします、どうなのでしょう。

「高本教育長」 林委員から自己評価についてのご意見がありました、他の教育委員の方で自己評価の仕方について何かお考えありますか。よろしいですか。自己評価の仕方について事務局として何かコメントがありますか。

「酒井庶務課長」 林委員の言われる事もごもっともですが、例えば市民の満足度という話になりますと、アンケート調査などで踏み込んで検討しなければなりません。中々そこまでの数値化できる資料がないのが現状です。

「高本教育長」 数値が下がったとか、あまり上がっていないというのは一つの自己評価の基準になるかもしれませんが、それだけで判断してしまうと厳しいというか、皆さん一生懸命やられているとは思いますが、また、数値が上がれば良いかというところばかりでもないですから、林委員が言われることも分かります。

「林委員」 14ページの食に関する指導の充実は、残食率が本当に良い数値を出しています。これこそが学校給食課の評価ではないのですか。朝食云々というのは、あくまで指導はするけれども、実際は家庭がやる事なのでそれを評価に入れてしまうと苦しいですよ。

「菅沼委員」 食に関する指導の充実の成果として、朝食の喫食率を入れなくてはならないという訳ではないですよ。

「高本教育長」 そこをお聞きしましょうか。実施状況及び成果の欄に朝食状況を入れたのには何か意味がありますか。

「牧平学校給食課長」 これは総合計画と関連がありまして、例年数字を出して評価を受けているといった経緯があります。因みに残食率は、毎年11月に県の教育委員会から調査がありまして、その数字を掲載しております。朝食に関しては、小学校の5年生と中学校2年生の各学校1クラスにアンケート調査を実施しています。委員のご指摘どおり、私共の努力がそのまま繋がるとは言えない状況ですが、先程の理由でこのような掲載をさせていただいております。

「高本教育長」 朝食摂取率が総合計画の目標にも載っていて、そういう影響もあってここに上がってきているということですね。

「菅沼委員」 概ね期待通りの成果をあげたという自己評価ですので、何らかの成果をあげたという事ですから良いのではないのでしょうか。あまり成果をあげられなかったという事ではありませんので。

「高本教育長」 残食率のアップと朝食摂取率のダウンを相殺すると概ね期待通りということでしょうか。微妙なところですね。自己評価についてご意見が出ましたが、続けて何かご意見がありますか。

「林委員」 学校教育課の学級運営支援員の配置についても、新規任用の支援員が増加しており、資質向上が課題であると言っていますが、資質の向上が課題なのですか。そんなことを言っていたら支援員の増加なんて出来ませんよね。その辺をしっかりと踏まえて書いて欲しいと思います。それからイベントの参加人数なども、数で追うことはやめましょう。やる価値があるから、やっているのですから。先程、アンケートは取れないと言われましたが、抽出でも良いではないですか。数十人の方にアンケートを渡して、満足したかないかだけでも○を付けてもらえば、それだけで評価になると思います。やり方次第で出来ると思います。

「高本教育長」 貴重なご意見をいただきましたので、また来年度に自己評価をされるとしますので、今のご意見等も参考にさせていただいて事務局でご検討いただければと思います。

「菅沼委員」 シートNo.18のイングリッシュ・デイキャンプですが、自己評価としては概ね期待通りとなっていて、今後の方向性としては「見直し」とあるのですが、これはデイキャンプに行く人数を増やしてくよう努力をするという意味の見直しなのでしょうか。以前、人数を増やすことは出来ないようなことを言っていたと思うのですが。

「河原教育部次長」 イングリッシュ・デイキャンプについては、4年間の事業で今年が4年目となっています。来年度から小学校3、4年生が英語活動、5、6年生が英語科になることも踏まえ、参加人数を増やすことが出来ないかを検討しております。現在、イングリッシュ・デイキャンプは40名の児童生徒が3日間キャンプを張っているのですが、40名×3日という設定をしていけば参加人数を増やせますので、そのような見直しを考えています。

「菅沼委員」 対象者が40人から120人になるということですか。

「河原教育部次長」 はい、そうです。

「高本教育長」 他にはいかがでしょうか。

「菅沼委員」 シートNo.35のトップレベルに触れる機会の充実についても見直しとあったのですが、記載されている内容では、どのような見直しをするのか分からなかったなので教えてください。

「高本教育長」 見直しの内容について、何か具体的に決まっていますか。

「戸荻スポーツ課長」 トップレベルに触れていただいて子どもに夢や希望を与える

ことが大きな目標ですので、そういう成果を上げられるように著名な選手、トップアスリートを招くように私達も努力しているのですが、なかなか行政だけではネットワークがなく予算的にも限られています。今後の方向性にも書きましたが、ネットワークを持つ関係団体と連携を図って、できるだけ安く著名な方を呼べるようにしたいという思いで見直しとさせていただきます。大きくやり方を変えたり、事業を廃止したりするという意味での見直しではなく、やり方を工夫して行きたいというものです。

「高本教育長」 他にはよろしいでしょうか。

「渡辺委員」 シートNo.4について一つ教えてください。前年度の点検評価委員の主な意見の中に、専門的なアドバイスが出来る人材の確保とありますが、現在のハートフル相談員は、どのような経歴の方がなっているのでしょうか。

「小林学校教育課主幹」 把握している限りですが、元教員の方や養護教諭の方がお見えになります。

「渡辺委員」 不登校だけを捉えると少し違うかもしれませんが、先日、新聞にいじめ問題などが起こった時の対処の仕方ということで、教育委員会として弁護士を採用している市が5、6件あるという記事が載っていました。まだあまり多くないと思いますが、教員の皆さんには法律的な専門知識はありませんので、事故があった時などには非常に手助けになるという事が書いてあり、確かにそうだろうなと思いました。話が広がりますが、教員の多忙化の問題にも関連してくると思います。予算の関係もあるでしょうし、適当な人が見つかるかどうかという事もあると思いますが、将来的には、その辺りも考えていかななくてはならないのではないかと思います。

「高本教育長」 関連してお聞きしますが、専門的なアドバイスができる人材の確保というのは、もっと人材を増やして欲しいという意味なのか、もっと専門的アドバイスが出来るような人に入れ替えをなさйтеという意味なのかどちらの意味合いで、点検評価委員はおっしゃられたのでしょうか。

「小林学校教育課主幹」 スキルアップということではなくて、相応しい人材を増やしてという意味です。

「高本教育長」 例えば、今、渡辺委員が言われたように弁護士に入ってもらおうとかいう事ですか。

「小林学校教育課主幹」 不登校対策ですので、そこまでの意味合いはなく、カウンセラーや相談員を増やして欲しいということです。

「高本教育長」 いじめ問題などが絡んでくる場合には、弁護士の方に入っていただく必要が出てくるかもしれませんね。他にはございますか。

「渡辺委員」 シートNo.38の防犯・防災設備の充実について、設備を充実させて備えるという点では良い事ですが、ハードの面を整えるだけではなくソフトの面でも訓練をしなくては役に立たないと思います。地震の訓練などは定期的に行われていると思いますが、暴漢や不審者等に対する意識や訓練はあるのでしょうか。

「河原教育部次長」 学校にはそれぞれ危機管理マニュアルがありまして、不審者が入ってきた時の対応等が記されているものを基に訓練や研修を実施しております。ま

た各学校には、さすまたやネットランチャー等を常備しており、ネットランチャーについては、不審者に対する網の飛ばし方などの講習を行っています。

「渡辺委員」 設備を整えることも大切ですが、訓練がきちんと出来ていないといざという時に使えません。AEDもそうだと思います。機器がある事は知っていても、いざという時に使えない事も多くあるようですので、いろいろな事を想定しながら、マニュアルを揃えるだけではなく実地訓練なども計画的に進めていただきたいと思います。

「高本教育長」 最近是不審者等も荒っぽくなってきているので、どこまで先生達が防げるかという話もあります。どちらかという子ども達を早く安全に逃がすようにしていかないと、さすまたで立ち向かって行くというのは、昨今の凶悪犯罪者に対しては難しいかもしれません。極端な話ですが、ガソリンを持ってこられたら抵抗しない方が良く私は思いますので、その辺も含めて避難の方法を考えておくとは必要かもしれません。

「林委員」 一つよろしいですか。今から18年ほど前だったと思いますが、大阪で8名の児童が殺傷された事件がありました。事件の後、学校の門を閉めようという議論が盛んにされましたが、豊川市の場合はいろいろな所から入れてしまうためなかなか難しいということで、ソフト面を充実させましょうという事で今現在があります。しかしこれだけ凶悪な事件が起こるとフェンスで囲むとか門を閉めるという事も考えて行く必要があるのではないのでしょうか。その辺りをしっかり議論していく必要があると思うのですが、いかがでしょうか。

「高本教育長」 学校に警備員を配置するという事になると、相当人件費などが掛かるのでしょうか。庶務課長、どうでしょうか。

「酒井庶務課長」 18年前の大阪池田小の事件を受けて、豊川市では各学校に防犯カメラを設置しました。その当時に設置した機器が老朽化してきておりますので、来年度以降、更新していくことを考えています。また、門扉については学校によって様々ですので、今年度、全校の状況を調査しております。門が閉められないような学校については、扉を設置する予算の要望を来年度以降にしていきたいと進めている状況です。最近、凶悪な事件なども増えてきておりますので、学校周辺の防犯対策にも注目して整備をしていくことを考えています。

「林委員」 大阪の事件の犯人が、捕まった後、校門が閉まっていたら自分が入らなかったと言っていました。開いていたから入ったのだと。ですから、やはり門扉の設置は考えていく必要があると思います。ぜひお願いします。

「酒井庶務課長」 当局の理解を得られるように予算要望をして行きたいと思います。それから、教育長が言われた警備員の件ですが、委託か職員を雇うのかでも変わってくるとは思います。警備となれば学校が開いている時間帯は常時配置という形になりますので、36校というかなりの金額が掛かってしまうと思います。

「高本教育長」 人を配置すればそれだけお金が掛かるというのは分かりますが、先ほど林委員が言われたように、門扉が閉まっていれば入らないとか、誰かいるという

ことは抑止力になりますよね。防犯カメラでも良いですが、カメラがあるということを知らしめないと抑止効果にはならないと思います。なぜ警備員を思ったかという、あれだけ安全神話の新幹線でも今は必ず警備員がいますよね。どの車両にも必ず1回は回って来ます。警備員が通ってだけで、乗っている方が随分と安心されているという感じがしました。そんな事もあって、人がいるというだけで随分違うと思いましたが、その事で言わせていただきました。

「酒井庶務課長」 常時ではなくて、巡回のような方法もあるかもしれません。

「高本教育長」 それでも違うと思います。定期的に巡回していることが分かれば、それも一つの大きな抑止効果になると思います。

「菅沼委員」 定期的だと分かってしまうので、巡回時間を変えて回るのも良いかもしれませんね。

「高本教育長」 卒業式の前日は、今でも警察がパトロールをしていますか。

「河原教育部次長」 警備会社が回っています。

「高本教育長」 警備会社が回っているのは、予算を付けているのですか。

「河原教育部次長」 付いていると思います。

「高本教育長」 防犯についてご意見をいただきましてありがとうございます。私の方から一点よろしいでしょうか。シートNo.21の情報モラルについて大事な事業ですので、昨年度よりも評価が上がるのは良い事ですが、予算が全然ありませんね。自助努力だけなのか、或いは他人に頼りきっているという感じもしますので、何か予算化を考えても良い気がします。お金が掛からずに成果が上がるような事業なら、それはそれで良いかもしれませんが、せっかく良い取組で効果も上がっていますので、具体的には出ませんが、何らかの予算を考えても良いと思います。

「高本教育長」 他にはよろしいでしょうか。それでは、日程第5、その他報告「平成30年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について」の報告は以上とさせていただきます。

本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会は閉会といたします。

(午後4時25分 閉会)